

小規模企業景気動向調査

[平成26年12月期調査]

～悪化傾向から一転、改善を示した小規模企業景況～

2015年1月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員
調査時点：2014年12月末
調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…悪化傾向から一転、改善を示した小規模企業景況…◇

12月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の資金繰りおよび業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅改善、また、売上額および採算DIは大幅に改善した。前月比で、全てのDIが改善したのは5か月ぶり。一方、経営指導員からは、①消費増税と円安の影響で、景気は減速しているようだ、②景気持ち直しの雰囲気はあるが、消費マインドの向上までには至らず、個人消費は低迷しているなど、厳しい景況認識を指摘する報告もあった。

<製造業> ◇…受注は好調だが、円安の影響もあり、採算は厳しい製造業…◇

製造業は、採算および資金繰りDIは多少改善、また、売上額DIは大幅に改善し、業況DIは不変であった。経営指導員から、好転材料として、①精密機械関連や機械部品関連、自動車関連で、受注好調により売上額が増加した、②一部で、原油価格の下落により、採算の悪化に歯止めがかかりつつあるなどの報告があった。また、悪化材料としては、①食品関連で、円安の影響で輸入原材料が高騰し、採算が取れない、②電気料金の値上げにより、経費が増加し厳しいなどの報告があった。

<建設業> ◇…公共工事を中心に受注好調だが、資材価格・人件費の高止まりの影響が残る建設業…◇

建設業は、資金繰りおよび業況DIは多少改善、また、採算DIは大幅に改善し、売上額DIについては12.3ptの改善を示した。経営指導員から、好転材料としては、①公共工事関連で、年末にかけて、土木工事や災害復旧工事の受注が好調であった、②住宅リフォームの受注が安定しているなどの報告があった。また、悪化材料としては、①資材価格や人件費の上昇が継続しており、収益が確保できない、②一部地域で、降雪の影響により工事が滞り、売上額が減少しているなどの報告があった。

<小売業> ◇…冬物商品の販売増等により明るさが見られるものの、依然、個人消費の落ち込みが続く小売業…◇

小売業は、資金繰りDIは小幅改善、また、売上額、採算および業況DIは大幅に改善した。経営指導員から、好転材料としては、①寒波の到来により、冬物衣料の売れ行きが良好であった、②食料品関連で、年末需要で、客数や売上額が増加した事例があったなどの報告があった。また、悪化材料としては、①個人消費の落ち込みにより、引き続き売上額が減少している、②食料品の仕入単価上昇により、収益が圧迫されているなどの報告があった。

<サービス業> ◇…年末の需要期で、明るい動きが見られたサービス業…◇

サービス業は、資金繰りおよび業況DIは多少改善、また、売上額および採算DIは大幅に改善した。経営指導員から、改善材料としては、①宿泊関連で、年末で、宿泊客や宴会利用の増加により好調であった、②理美容業で、年末で客数が増加し、売上額が増加したなどの報告があった。また、悪化材料としては、①飲食関連で、材料価格の上昇により採算が取れない、②クリーニング業で、節約志向から、顧客が利用を控えることで、売上額が減少しているなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 24.8	▲ 15.1	9.7	▲ 14.1	▲ 6.7	7.4	▲ 14.6	▲ 2.3	12.3
採算	▲ 33.7	▲ 27.9	5.8	▲ 30.1	▲ 26.7	3.4	▲ 29.0	▲ 23.0	6.0
資金繰り	▲ 25.2	▲ 23.1	2.1	▲ 22.0	▲ 21.4	0.6	▲ 21.3	▲ 19.5	1.8
業況	▲ 31.8	▲ 27.6	4.2	▲ 26.7	▲ 26.5	0.2	▲ 20.5	▲ 16.3	4.2

業種	小売業			サービス業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 39.9	▲ 30.0	9.9	▲ 30.4	▲ 21.7	8.7
採算	▲ 44.5	▲ 36.0	8.5	▲ 31.1	▲ 26.0	5.1
資金繰り	▲ 34.7	▲ 29.9	4.8	▲ 23.1	▲ 21.6	1.5
業況	▲ 48.1	▲ 40.1	8.0	▲ 32.1	▲ 27.7	4.4

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。